

# こんにちは 市長です。

No.84



## 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスが、かつてのように騒がれなくなって初めての新年、本来であれば、もっと明るい気持ちで迎えるはずの年の初めですが、世界は地域での争いが収まるどころか、拡大し続け、理不尽に弱い者の命が奪われ続ける毎日で、思わずテレビから目を背けてしまいがちですが、一方では、私たちの生活も物価高の嵐が収まらないまま、不安が続く年の初めと言わざるを得ません。

最近、家の近くの港を散歩していても思いますが、「コロナやウクライナイ侵攻で、友好都市のサハリンの各都市と交流が途絶えてから既に4年が経過しているにも関わらず、未だ明るい兆しが見えないまま、一日も早く交流できる日が来ることを願っている毎日でもあります。

また、ドカ雪で始まった今シーズンも、昨シーズン同様雪の少ない年で終わるのか、また大雪で、除雪に振り回される毎日になるのか、ここも不透明です。

いつも申し上げているとおり、「明けない夜はなく」、悪いことばかり続くわけはありません。「卯歳」が過ぎて、今年は「辰歳」、今年は辰にちなんで、これまでの苦しい時期を乗り越え、「飛躍」や「向上」の年にしなければならぬ、改めてそんなことを考えながら、新年を迎えました。

我がまちが更なる飛躍を遂げるために、市民の皆さんのご協力を心からお願ひし、新年の挨拶といたします。

稚内市長 工藤 広

## 地域の医療・ 介護を知ろう！



私たちが安心して暮らし続けるためには、医療と介護が不可欠です。これからの地域の医療・介護について、皆さんと一緒に考えていくため、シリーズで連載します。

【社会福祉法人緑ヶ丘学園・編】

社会福祉法人緑ヶ丘学園は、昭和24年の創設以来74年間、児童福祉、障がい者福祉及び高齢者福祉に寄与すべく施設サービス事業、在宅サービス事業を営んでいます。経営施設は、入所サービスでは、障がい者支援施設「稚内はまなす学園」、特別養護老人ホーム「稚内緑風苑」を、在宅サービスでは、障がい者グループホーム、就労支援事業所、相談支援事業所、高齢者デイサービス、居宅介護支援事業所となっております。

今回は、稚内緑風苑施設長の佐藤さんにお話を伺いました。

### ■「稚内緑風苑」はどのような施設ですか。

平成17年開設の介護保険法によるユニット型指定介護老人福祉施設です。建物には、複数の1人部屋（トイレ、洗面付）とリビングなどの共用設備が一つの単位（ユニット）になっており、



り、家族から花束を渡しお祝いする敬老会などを行い、懐かしの思い出などを聞かせてもらっています。

### ■リフト導入で働くスタッフも支援

介護スタッフが働きやすい職場にするため、当初から、移動式リフトや設置型リフトを導入しています。これにより、職員の介護労力を軽減し、ゆとりある心で、利用者の安心・安全に配慮しながら介護を行っています。居室や寝室、浴室、トイレ等での移乗に使われ、職員は腰痛など身体的な痛みにも悩まされることなく、



快適な介護サービスの提供につなげ、また、自身の健康管理にも繋がっています。

### ■充実した勤務環境

働くスタッフのために、給与改善に取り組んでいるほか、新規採用時の有給休暇付与や、就職奨励金の給付、退職金制度への加入など、働く環境改善に日々努

めています。

### ■声問地区との関わり等を教えてください。

声問地区は、稚内市のノーマライゼーション推進地区で、声問町内会が中心となり、声問小学校、稚内養護学校、地域の方々の町内会祭りや各イベントの協力参加をさせていただいています。また、防災の観点からも関わりが強くなってきています。

### ■介護のやりがいや思い等を教えてください！

超高齢化社会を迎える中、人材不足は福祉の現場にも影響を与えています。外国人の方々にも力を借りることになってきました。長年ご尽力いただいた諸先輩方をこれから支えていくためにも、福祉の現場で一緒に働いてくれる人材を随時募集しています。

利用者みなさんが安心して日常生活を過ごせるよう、「自助」「互助」「共助」「公助」をしっかりと体現できる社会づくりを通じた地域共生社会の実現に、これからも福祉で地域に貢献していきます。

### お問い合わせ

社会福祉法人緑ヶ丘学園  
☎26・2626